

## 県鷲・土木工業会が祈願祭と慰霊祭を

# コロナ収束へ祈り

## 万全の感染対策で挙行

県鷲・土木工業会（鈴木洋治会長）は24日、水戸市の別雷皇太神にて新年の祈願祭と慰霊祭を執り行った。例年、同会が行っている神事だが、ことしは感染対策を行った上で実施。安全祈願と先人への慰霊に加え、新型コロナウイルスの収束を祈念した。

この祈願祭と慰霊祭は1年の安全を祈願することともに、歴代の物故者の霊を慰めるためのものである。例年は約30人が出席していたが、今回は感染症対策として少人数、マスクの着用、消毒の徹底など万全の

対策を講じた。また、例年行っていた懇親会もことしは中止とした。祈願祭では鈴木会長らが玉串を奉奠。続いて、「由緒の碑」の前で慰霊祭を挙行。物故者の御霊に祈りを捧げた。神事を終えた鈴木会長は「ことしは新型コロナウイルスの影響で開催するべきかどうか悩んだ。しかし、一刻も早く元の生活に戻るよう祈りを捧げることも大切だと考えて、規模を縮小して行わせていただいた」とコメントした。

